



# クンドルニュース



## WHO 75周年 「Health for All (すべての人に健康を!)」

### 世界保健機関 (World Health Organization : WHO)



新型コロナウイルスの出現以来、私たちの日常で耳にする機会が増えた「世界保健機関 (World Health Organization: WHO)」は、1948年に、すべての人々の健康を増進し保護するために設立された国連の専門機関で(日本は1951年に加盟)、今年創立75周年を迎えました。創立記念日である4月7日は、「世界保健デー(World Health Day)」と定められ、世界各国でその年のテーマに沿ったイベントが開催されています。75周年の今年のテーマは「Health for All(すべての人に健康を)」。

SDGs(持続可能な開発目標)において保健医療分野は、目標3「すべての人に健康と福祉を」に集約されていますが、全ての目標の根幹をなす、「いのち・健康」について改めて考える機会にしてみたいでしょうか。

#### WHOはどこにある?

WHO本部はスイスのジュネーブ。6つの地域事務局(米州、アフリカ、南東アジア、欧州、東地中海、西太平洋)にわかれ、世界各地に約150か所のWHO事務所があります(日本は西太平洋地域に所属)。日本国内にWHO事務所はありませんが、神戸市にWHO健康開発総合研究センター(WHO神戸センター)があり、WHO本部直轄の研究機関として活動しています。

#### WHOの組織は?

最高意思決定機関は、毎年開かれる「世界保健総会(World Health Assembly: WHA)」で194の全加盟国・地域の代表で構成されています。総会の下部機関として、保健の分野で技術的に資格のある34人のメンバーで構成される「WHO執行理事会」があり、WHO総会での決議や政策を有効に促進し、WHO総会へ助言や提案を行う役割を担っています。

#### WHOのトップは?

職員数約8000人のトップは、エチオピア出身のテドロス・アダノム氏。2017年7月に第8代事務局長として就任。2022年5月のWHO総会で再任され、2027年8月15日までの任期予定です。日本人では中嶋宏氏が、1988年から1998年まで第4代の事務局長を務めました。

#### ロゴマーク 豆知識



## World Health Organization

WHO(世界保健機関)の紋章は、国連の紋章の中央に医術の神といわれているヘビとギリシャの医神イスキュレピアス(Aesculapius)の杖を配したもので、1948年の第1回世界保健総会で選定されました。蛇が巻き付いた杖は医学のシンボルとされており、医師会の標識等にも用いられています。

公益社団法人日本WHO協会の機関誌『目で見えるWHO』より

#### 参考

WHOのことが  
書かれています

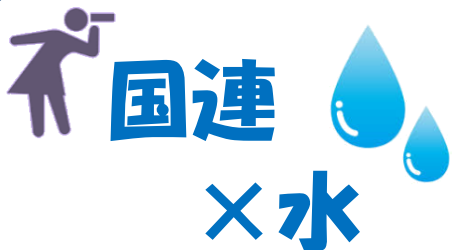
『パンデミック・プラネット: 感染症が地球に  
あたえる影響』

(アンナ・クレイボーン/作 大山 泉/訳  
評論社 2021年)

資料番号: 1014344459

『世界の人びとを健康に世界保健機関  
(調べてみよう世界のために働く国際機関)』

(ジリアン・パウエル/著 ほるぷ出版  
2003年) 資料番号: 1007109455



水を供給する生態系の消失や気候変動により、誰もが持つ人権であるべき安全に管理された飲料水と衛生施設へのアクセスはさらに不安定になっています。3月22日から24日の日程で、「2023年国連水会議(UN 2023 Water Conference)」が、世界的な水危機への認識を高めること、そして国際的な水関連の目標達成のための協調行動を決定することを目的にニューヨークの国連本部で開催されました。

この会議で発表された国連大学による報告書、『2023年 世界における水の安全保障アセスメント』\*では「安全な飲料水、下水設備、衛生サービスがないために亡くなる人の数は、水と関連のある災害による死者の数より多い」ことを明らかにし、世界人口の過半数が現在水の供給が不安定な国に暮らしていると指摘しています。水の安全保障に関する世界規模の見通しを初めて示したこの報告書の貴重なデータを示し、世界が持続可能な開発目標(SDGs)の目標6「安全な水とトイレをすべての人に」の達成に向けて、最も脆弱で不安定な立場に置かれた人々が取り残されないようにするための政策と資金供給など行動を加速することを明確化しています。



\*『Global Water Security 2023 Assessment(2023年 世界における水の安全保障アセスメント)』(英語)  
[https://inweh.unu.edu/wp-content/uploads/2023/04/23-116\\_UNU\\_Water\\_Security\\_WEB\\_Final\\_updated.pdf](https://inweh.unu.edu/wp-content/uploads/2023/04/23-116_UNU_Water_Security_WEB_Final_updated.pdf)

こんな本も  
あります!

水問題や SDGsゴール6に関する本

(福岡市総合図書館所蔵)

書名/著者名/出版社/出版年	資料番号
身のまわりの水のはなし 齋藤 恭一/著 朝倉書店 2022	1014352981
SDGs とトイレ : 地球にやさしく、誰もが使えるために (進化するトイレ) 日本トイレ協会/編 柏書房 2022	1014454837
地図とデータで見る水の世界ハンドブック ダヴィド・ブランション/著 オーレリー・ボワシエール/地図製作 原書房 2021	1014173486
もし、水がなくなるとどうなるの? : 水の循環から気候変動まで (地球の未来を考える)C.シュタインライン/文 M.シャイアー/絵 西村書店 2022	1014354243

ご存知ですか?

国際デー



5月10日

アルガンノキの国際デー

International Day  
of Argania

国連は、2023年3月の国連総会において、5月10日を「アルガンノキの国際デー」とすることを採択([A/RES/75/262](https://www.un.org/en/resolutions/2023/05/2023-res-75-262))しました。アルガンノキとは、モロッコ南西部に自生している樹木で、種子から採取できるアルガンオイルは美容、健康に効果があることで知られています。アルガンノキは、ユネスコの無形文化遺産として登録され、また食糧農業機関(FAO)により世界的に重要な農業システムとして持続可能な開発の源になっていると紹介されています。

「アルガンノキの国際デー」公式ホームページ:

<https://www.un.org/en/observances/argania-day>



編集後記



WHO感染症危機管理シニアアドバイザーの進藤奈邦子さんは地球防衛軍であるWHOが目立たず取り沙汰されない方が地球は平和で、取り沙汰されないときに着々とパンデミックの準備をすべきことを、国連広報センターのブログにて言われています。「パンデミック対策の成功は9割が準備にかかっている」という、常に未来を見据えた決意に満ちた言葉が印象的でした。

詳細をお知りになりたい方は、ぜひ2階国際・国連カウンターにお立ち寄りください!



開館時間: 10:00~20:00

10:00~19:00(日・祭日)

\*相談業務は 19:00(日・祭日 18:00)まで

休 み : 毎週月曜・毎月月末

(休日のときはその翌平日)

年末年始・図書特別整理期間

九州国連寄託図書館

〒814-0001 福岡市早良区百道浜 3 丁目 7 番 1 号 福岡市総合図書館 2階

TEL 092 (852) 0628